



2019. 7. 25

パークシャ テクノロジー 株式会社PKSHA Technologyと資本業務提携を締結

静岡銀行（頭取 柴田 久）では、第13次中期経営計画「TSUNAGU ～つなぐ」の基本戦略「事業領域の開拓・収益化による地方銀行の新たなビジネスモデルの構築」の一環として、(株)PKSHA Technology（代表取締役 上野山 勝也、以下「PKSHA Technology 社」）と資本業務提携を締結しましたので、その概要をご案内します。

なお、本提携により、静岡銀行は、同社が発行する株式の一部（取得予定株式数：268,500株、発行済株式総数の約0.88%）を、株式会社東京証券取引所の市場内立会外取引（ToSTNet-1）の方法で、既存株主から取得する予定です。

1. 締結日 7月25日（木）

2. 資本業務提携の背景と目的

- (1) 静岡銀行では、第13次中期経営計画の基本戦略の一つとして「事業領域の開拓・収益化による地方銀行の新たなビジネスモデルの構築」を掲げ、異業種との提携を通じて、従来の枠組みや発想にとらわれない新たな収益基盤となるビジネスを創造し、持続可能なビジネスモデルの構築に取り組んでいます。
- (2) PKSHA Technology 社は、自社開発した機械学習/深層学習領域のアルゴリズム（問題を解決するために知的設計されたソフトウェアロジック）を用い、既存のソフトウェアや各種ハードウェア端末向けにソリューションを展開しています。また、自然言語処理技術を用いた自動応答エンジンや、画像/動画認識、予測モデルなど、多岐に渡り国内大手企業へアルゴリズムを提供しています。静岡銀行は、今回の資本業務提携を機に、同社の高度な技術を取り入れ、従来にはない発想と創意によって、より付加価値の高い新たな金融サービスの開発を目指します。

3. 業務提携の内容

- (1) **AIを活用した最先端の金融事業やサービスの開発**
○社会構造や産業構造が大きく変化する経営環境において、将来にわたり持続可能なビジネスモデルを構築するため、PKSHA Technology 社のもつアルゴリズムを活用し、中長期的な収益基盤となる金融事業やサービスの開発に取り組みます。
- (2) **AI活用の共同研究を推進**
○PKSHA Technology 社がもつ多岐に渡るアルゴリズムを活用して、これからの時代に必要となる金融事業やサービスの共同研究に取り組みます。
- (3) **AIの知識習得と事業化を目的とした人的交流**
○金融業務のデジタル化が急速に進むなか、今後、地域金融機関でもAIを活用した事例の増加が予想されます。さらに、AIの進展により、金融サービスのありかたが問われるなかで、PKSHA Technology 社がもつ国内トップレベルのアルゴリズムを金融業務に活用するため、両者間の人的交流を行います。

<PKSHA Technology 社の概要>

設立	2012年10月16日
本社所在地	東京都文京区本郷二丁目35番10号 本郷瀬川ビル4階
事業内容	アルゴリズムのライセンス事業
資本金	25億4,829万円
代表	上野山 勝也